

# 信太山丘陵の市有地（16ha）

## 自然環境を保全し、後世に伝えよう

信太山丘陵は、明治以降陸軍や自衛隊の演習場として利用されてきた歴史も関わって大阪近郊では珍しい里山的自然環境を良く残してきました。

今までの調査報告によれば、信太山丘陵は多様な植物や昆虫、野鳥などが生息し、大阪府を代表する生物多様性の豊かなホットスポットと云われています。

なかでも、自衛隊と等価交換した和泉市有地16haは、信太山丘陵を代表する最も特長的な湿地が点在しサギソウやトキソウなど絶滅危惧種が自生し、草原や雑木林には様々な小さな生き物が棲み、野鳥のオオタカは子育てを行っています。そして、人々が春は山菜採り、秋はキノコ狩りなどを楽しみ、ジョギングや散歩で親しんできたところです。貴重なこの自然環境は、ぜひ次の時代に引き継ぎたいものの一つと考えます。

昨年、名古屋で生物多様性条約締約国会議（COP10）が開催され、生物多様性を守ることは人類にとって重要かつ緊急の課題であることが国際的共通の認識となりました。

平成20年わが国は「生物多様性基本法」を制定し、生物多様性を守る取り組みは国や地方公共団体の責務と決めました。

かかる趣旨から下記のことをすすめていただきたくお願いいたします。

- 1、「生物多様性基本法」の精神、「和泉市環境基本条例」にのっとり、信太山丘陵の市有地（16ha）の野生生物の生態系を保全し、里山的自然環境の保全を図ること。

氏名	住所	印

（ 取り扱い団体 ）

平成23年 月 日

和泉市議会

議長 小野林 治三夫 様